

日本精神保健看護学会

- The Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing -

ニュースレター 第15号
平成8年1月25日

事務局：

〒150 渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学内

(理事長：稲岡文昭)

TEL：03-3409-0875

FAX：03-3409-0589

第6回 日本精神保健看護学会・学術集会のご案内

いろいろと大事件のあった平成7年も終わり、今年は少しでも平和な年であって欲しいと願うばかりですが、看護界はここ数年まだ変化の激しい時期が続くようです。

さて、本年も学術集会が7月6日(土)、7日(日)の両日、昨年と同じく北里大学看護学部にて開催されることになりました。今回のテーマは「続・精神看護の専門性を問う」です。2年続けて同じテーマでは新鮮味が無いと感じるかもしれませんが、これは決して手を抜いた訳ではありません。昨年の参加者の感想を聞くと、精神看護の専門性やそれに関わる精神看護の危機について、いま一つ消化しきれなかったという意見も少なくありませんでした。考えてみれば、専門性の探究は常に行われるものであり、2回続けたからといってより明確な答えが出ることも限りません。しかし時代の背景は、精神保健福祉士資格化の動きも含め、さまざまな側面で昨年と同様かもしくはより専門性を明確にすることを我々に要求している感すらあります。同じテーマとはいえ、また違った視点や角度から精神看護の専門性を考えていただけるような講演やシンポジウムを企画いたしますのでどうぞ奮ってご参加ください。

ご存じのように当学会の一般演題発表は第1回から、1題につき発表15分、討議15分と余裕を持たせてあります。これは、会員の方々の研究の質や完成度をより高めるためにはどうすればよいか、継続して研究するためにはどのような方向性があるか、などを検討するための時間であり、必ずしも発表の時点で完全な完成度を求めるものではありません。ずっと研究課題としてあたためているがもっと他の状況と比較してみたい、違う視点からの意見が欲しい、継続するための方向性について示唆が欲しい、などのニーズがありましたら是非お気軽にこの場をご活用ください。

(N. K)

第6回 日本精神保健看護学会・学術集会

1. と き： 平成8年7月6日(土)・7日(日)
2. ところ： 北里大学 看護学部(神奈川県相模原市)
3. テーマ： 「続・精神看護の専門性を問う」
4. 日 程： [第1日 7月6日(土)] 13:30～17:30

* 基調講演 外口玉子氏

* ワークショップ

リエゾン精神看護学習会、体験グループ、「再構成」の方法、事例検討会、などを予定しております。

* 懇親会

[第2日 7月7日(日)] 9:30～17:00

* 一般演題発表

* 総会

* シンポジウム

演題募集のお知らせ

1. 同封のハガキにて演題名のお申し込み 平成8年2月末日迄
2. 抄録の~~メ~~切は、平成8年3月末日
抄録用の原稿用紙は、ハガキを受け付け次第お送りいたします。

お申し込み・お問い合わせ

北里大学看護学部内 日本精神保健看護学会・学術集会事務局

〒228 神奈川県相模原市北里2-1-1

FAX 0427(78)9428

お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

教育活動委員会の報告

教育活動委員会のニーズ調査へのご協力ありがとうございました。400人に配布し99人からご回答をいただきました。回答者の職種は看護婦48人、看護教員37人、その他14人、教育背景は専門学校・短大52人、大学・大学院46人、他1人、居住地は関東地区が46人、その他53人でした。研究に関する相談・サポート活動については回答者の83%が知っており、その必要性については88%が必要と答え、92%が継続を望んでいました。主な意見は会場・場所などの相談・サポートの拡大を望む、通信システム、ワークショップ、紙面を通じてなどの相談方法の工夫を望む、相談内容の実際（具体例や結果）の広報を望む、研究・関心領域の情報ネットワーク化を望む、現場の看護婦の支え手として存在することに意義があるので継続を望むなどでした。関心領域と参加してみたい研究会・勉強会のテーマはほぼ同じ内容で、精神科看護に関する専門性と役割、看護診断、教育方法、ケア技術、リハビリ、社会復帰、法律などについて、ターミナルケア、危機介入、グリーンワークなどについて、看護者の質向上やメンタルヘルス、サポートシステムについて、リエゾン精神看護についてなど多岐にわたっていました。

研究会・勉強会の実施方法については、開催時期は49%が7月学会前後を希望し、その他は多くが8月から11月の時期をあげていました。開催頻度は年1回が51%、年2回以上は35%でした。開催場所は東京及び関東が61%、関西14%であり、学会開催地、各地で持ち回り、関東と関西で交互になどの意見もありました。開催形式はワークショップが最も多く68%でした。結果を踏まえて、教育活動委員会では、主体的な参加と研究的視点を養うことができ、参加者間のネットワークづくりが進むことも期待して事例検討会を企画中です。また、会員の皆さんのニーズをより反映した教育活動を行うためには、積極的にリードしてくれる人材の発掘も今後の課題だと考えております。

精神保健活動のご紹介 — 第5回 —

— 被災地児童・生徒へのチームケアについて —

被災地N市教育委員会からの依頼を受け、被災1カ月後より、小学校2校と中学校1校の児童・生徒を対象にPTSDの予防のための実態調査や、学校教師や養護教諭へのコンサルテーション活動をおこなってきました。そのためのチームとして、学内外の専門職種に参加を呼びかけ、応じられた精神科医、心理士、ソーシャルワーカー、看護師などによって「子どものストレス研究会」（事務局大阪府立看護大学）を結成し、活動しながら例会も月1回程度続けてきました。その中で3月の調査に比べて9月の調査では、不安がらみの反応（余震不安、フラッシュバック、驚愕反応）が全体的には有意に減少しているものの、PTSDが懸念される生徒数は少なくないことが明らかになっています。

私たち看護チームは、小児、地域、精神を各々専門とする看護師4名が参加し、学校の保健室の養護教諭に協力しながら、児童・生徒の健康の維持と増進にかかわっています。しかし心身の違和感への訴へが地震前より増加していることや、地震後消失していた症状を最近になって現す生徒がいるなどの現象に出会っています。また、インフルエンザによる風邪症状を強く現している児童の数が例年になく増加傾向を示しています。このようなストレス反応の現れかたや遅延化の問題を、生活環境の変化や地震体験の受けとめ方などから検討しているところです。

震災街の復興が優先的になされることによる弊害がこどもの心身に現れてこないかどうかを丹念に見つめるためにも、今後も継続して調査や予防活動をチームで連携しながらおこなっていく予定です。

大阪府立看護大学

佐伯恵子（精神看護）

編集委員会からのお知らせ

編集委員会では、会員の皆様からの声、ご意見などを本ニュースレターで掲載させていただきます。200字程度で編集委員会までご投稿して下さい。

会員名簿作成についてのお願い

今年度は1996年5月に学会員名簿を発行する予定に致しております。そこで、現在事務局にて登録されておりますあなたの住所、所属を同封致しておりますのでご確認下さいますようお願い申し上げます。

確認事項：

①氏名、自宅住所（郵便番号も含む）、自宅電話番号、所属、所属住所（郵便番号も含む）、所属電話番号の6点についての変更あるいは間違い。

上記6点についての変更及び間違いがございましたらご連絡下さい。

②平成8年度4月からの変更。

③名簿に掲載することの不承諾。

名簿に掲載されたくない方は、その箇所を名記してご連絡下さい。

平成8年度4月から所属及び自宅が変わられる方はご連絡下さい。

連絡がない場合は、同封された住所のまま名簿に掲載させていただきます。

連絡方法：

変更がある場合、または掲載不承諾の場合は、お手数ですが下記の事務局までご連絡下さい。なお、事務局への連絡は葉書などの郵送か、FAXにてお願い申し上げます。

〒150 渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内
日本精神保健看護学会事務局
FAX：03-3409-0589

連絡締切期日：

上記のご連絡は平成8年3月末日迄にお願い致します。それ以降にご連絡頂いても、名簿には間に合わない場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

事務局だより

*** 会費納入状況について ***

前号ニューズレターの会費納入の呼びかけに多くの方が応じて下さり、たいへん感謝いたしております。現在、全会員426名のうち、221名の方から平成7年度の会費を納めて頂きました。ありがとうございました。

年会費の納入状況は封筒の宛名の下に記しておりますので、ご確認下さい。また、未納の方には振込書を同封いたしておりますので、たびたび催促をして申し訳ございませんが、至急お納め下さるようお願い申し上げます。

*** 事務局の電話番号の変更について ***

事務局の電話番号が平成8年4月より以下のように変更いたします。（電話番号以外の変更はございません。）

日本精神保健看護学会事務局
（日本赤十字看護大学内）
TEL 03-3409-0722

なお、専従の事務員がおりませんので、電話では連絡のつかないことが多いと思います。事務局への連絡は、お手数ですが、葉書などの郵送か、FAXにてお願いいたします。

*** 連絡先不明の会員について ***

下記の方の連絡先をご存知の方は、事務局までご一報くださるようお願い申し上げます。

東京都板橋区 黒木 淳子 様（会員No. 271）

練馬区 安慶 名栄子 様（会員No. 294）

長野県松本市 荒井 幸男 様（会員No. 339）